

第2問

解答

A	問1 - ②	問2 - ①	問3 - ④	問4 - ②	問5 - ①
	問6 - ④	問7 - ①	問8 - ②	問9 - ②	問10 - ④ (各2点)
B	問1 - ⑤, ④	問2 - ③, ④	問3 - ③, ⑤		(両方正解で各4点)
C	問1 - ④	問2 - ⑤	問3 - ③		(各4点)

設問解説

A 文法・語彙・語法問題

問1 8 正解②

〔訳例〕 祖母が死んでから2年たつ。私は彼女が死んだショックからまだ立ち直れない。
空所の次に〈期間〉を表す for two years 「2年間」が続くので、空所に入れるべき述語動詞は〈継続〉を表す完了形になる。続く第2文が現在形で示されているので、第1文の内容は、過去の出来事を現在に結びつけて述べる事がわかる。したがって、現在完了の② has been dead が最も適当。これは直訳すれば「祖母は2年間死んでいる」となる。① died は過去形なので、次が two years ago 「今から2年前」なら正解。③ has died は「死んだ」という〈完了〉を表す現在完了なので不適当。④ was dead は、「死んでいた」という過去の状態を表すので、次の for two years につながらず誤りである。

問2 9 正解①

〔訳例〕 市長が自分の息子たちを関係官庁の仕事に就かせたことに、多くの人々は大変怒っているが、彼は自分の権力の乱用を批判されることを気にしていない。
空所には「…するのをいやだと思う」の意味の他動詞 mind の目的語が入る。mind は目的語として動名詞はとれるが、to 不定詞はとれないので③ to be criticized と④ to criticize は不適当。さらに、criticize は「O を批判する」の意味の他動詞なので、空所の次に目的語になる名詞が必要だが、空所には名詞ではなく前置詞句 for his abuse of power が続くので、受動態の動名詞形の① being criticized 「批判されること」が最も適切で、能動態の動名詞形の② criticizing は不適当。

問3 10 正解④

〔訳例〕 来週休暇でハワイに行く前に、ケンジは報告書を完成させなければならない。それで彼は今週とても忙しいのだ。
まず、空所に続く he's been very busy this week には、主語や目的語などの文の要素が不足していないので、関係代名詞や疑問代名詞で使う② what は誤り。次に、第1文の「報告書を…行く前に完成させなければならない」という内容は、空所に続く he's been very busy this week の〈理由〉となっている（「報告書を完成させなければならない。それでとても忙しい」）ので、空所には関係副詞の④ why がふさわしい。完成した That's why S' V' は That's the reason why S' V' と同義であり、「それが S' + V' の理由である」が直訳。接続詞の① because、関係副詞・疑問副詞・接続詞の③ when はいずれも不適当である。

問4 11 正解②

〔訳例〕 クローディアは今しがた出発した。もしあなたが2分早く来たならば、彼女に会えただろうに。
第1文の内容から、空所を含む第2文は過去の事実とは反対の仮定・想像を表す仮定法過去完了で表現されていることが予想できる。空所を含む文の前半が条件節 (If 節)、後半が主節と考えられ、空所に you come が続くので、この条件節は if が省略された倒置形になっていることがわかる。したがって、If you had come を Had you come の倒置形にす

ればよく、空所には② Had がふさわしい。その他の選択肢は仮定法過去完了の条件節の形 (had + 過去分詞) にならないので、すべて誤り。

問5 12 正解①

〔訳例〕 私にはその景色を描写する言葉が全く見つけれなかった。その美しさは筆舌に尽くしがたかった。
第1文の内容から、第2文は「その景色の美しさは描写できないほどすばらしかった」という内容になることが予想できる。したがって、空所には「(…の範囲・限界)を超えて」の意味の前置詞① beyond がふさわしい。その他の選択肢ではこの意味の熟語にならない。

問6 13 正解④

〔訳例〕 グリーン先生は2年生のクラスを担当している。彼女は学生に対する公平さで、彼女のクラスの学生全員からとても好かれている。
空所に続く of the second grade class、および第2文の内容から主語の Ms. Green は「教員」であることがわかる。したがって、空所には「…を担当して」の意味の熟語を完成させるために④ in charge を入れるのがふさわしい。① を入れた at the risk of ... は「…の危険を冒して」の意味、② を入れた for lack of ... は「…が足りないため」の意味、③ を入れた in advance of ... は「…より前に」の意味になる。

問7 14 正解①

〔訳例〕 ケイコは3年間バリの学校で日本語を教えているので、フランスの教育システムに精通している。
前半に「ケイコは3年間バリの学校で日本語を教えている」とあり、空所には the French educational system が続くので、「…に精通した」の意味の① familiar with がふさわしい。③ の ignorant of ... 「…を知らない」では逆の意味になる。② famous as ... は「…として知られた」、④ independent from ... は「…から独立した」の意味。

問8 15 正解②

〔訳例〕 消費税を引き上げるといふ政府の新提案は、それが人々の購買意欲を失わせるという点で、その国の経済にマイナスの影響を与えるだろうと言ふエコノミストもいる。
空所(A)は、have a negative effect のあとで、次に the country's economy が続くので、〈対象〉を表す前置詞 on 「…に対して」が適当。to は空所が give a negative effect に続くのであれば成立するが、ここでは不適当。空所(B)は、次に続く it will ... buying things は「それが人々の購買意欲を失わせる」という意味なので、「…という点において」の意味の in that が適当。後ろに S + V が続く点に注意。even if は「たとえ…でも」の意味なので不適当。したがって正解は(A): on (B): in that の②。

問9 16 正解②

〔訳例〕 元日に国王はテレビで全国民に演説した。彼は国民のあらんかぎりの幸福を祈って、その演説を終えた。
空所(A)は次に the whole nation 「全国民」が続くので、「(聴衆など)に演説する」の意味の他動詞 address の過去形 addressed を入れるのがふさわしい。said は、「…に話す」とするには say to とする必要があり、また「何を」言うのかも明示されていないので、ここでは不適当。空所(B)は次に続く them every happiness が O₁ (them), O₂ (every happiness) と考えられるので、二重目的語をとることができ「O₁にO₂を祈る」の意味の他動詞 wish の動名詞形の wishing が適当。want は二重目的語をとらないので誤り。したがって正解は(A): addressed (B): wishing の②。

問 10 17 正解 ④

〔訳例〕 グレグ：エリ、あとどのくらいでコンサートは始まるの？
エリ：15分後に始まるわ。急いだ方がいいわ。

空所(A)を含む疑問文の動詞 begin は「始まる」の意味なので、〈期間〉を聞く how long「どのくらい長く」は誤り。soon を入れて、how soon「どのくらいすぐに;あとどのくらいで」とするのが適当。空所(B)は start「始まる」のあとで、次に fifteen minutesが続くので、「…後に;…たって」の意味の前置詞 in を入れるのが適当。〈期間〉を表し「15分間」の意味になる前置詞 for は不適当。したがって正解は(A): soon (B): in の ④。

B 語句整序問題

問 1 18 19 正解 ⑤ ④

〔完成した文と訳例〕

Mary: Look! John's rushing out of his apartment house.

Paul: Oh, I wonder why he's in such a hurry.

メアリー：見て！ ジョンがアパートから飛び出しているわ。

ポール：わあ、なんでそんなに急いでいるんだろう。

正しい並べ方は ⑥ ⑤ ② ③ ④ ① で、正解は ⑤ ④ である。

空所の前に与えられた I に続く述語動詞は wonder しかない。さらに選択肢に why もあることから、I wonder why「なぜ…だろうか」というつながりが考えられる。空所を含む文は、メアリーの「見て！ ジョンがアパートから飛び出しているわ」という発言に対する応答文なので、空所部分は「なぜ彼は（飛び出すほどに）急いでいるのだろう」というような意味になると予想できる。したがって、he's のあとには「急いで」の意味の熟語の in a hurry を続ける。④such は「それほどの」の意味の形容詞で、名詞につなげるときは such a ... の形になるので、in such a hurry とすれば「そんなに急いで」となり、英文全体が完成する。

問 2 20 21 正解 ③ ④

〔完成した文と訳例〕

Yuka: It seems your parents are popular with the people in the neighborhood.

Mike: Yes, they never go out without saying hello to their neighbors.

ユカ：あなたのご両親はご近所で評判がいいようね。

マイク：うん、両親は外出すれば必ず近所の人たちにあいさつするんだ。

正しい並べ方は ⑤ ③ ① ⑥ ④ ② で、正解は ③ ④ である。

マイクの発言は、ユカの「あなたの両親は近所で評判がよい」という発言に対して Yes で応じた部分なので、「評判がよい」ことに対して何かを述べていると見なせる。選択肢に never, saying, without があるので、空所部分は「…すれば必ず-する」という意味の never ... without -ing の形になると予想できる。したがって、Yes, のあとには、文の主語 they, そして never go out without を続ける。残った hello, saying は、without に後続させて without saying hello とすれば、空所直後の to their neighbors と自然につながる。

設問解説

問 3 22 23 正解 ③ ⑤

〔完成した文と訳例〕

Cathy: I was surprised Greg didn't know that Ellen and Jim had got married.

Emily: So was I. I took it for granted that she'd told him.

キャシー：グレグがエレンとジムが結婚したことを知らなかったのには、驚いたわ。

エミリー：私もよ。私は彼女が彼に話したものと思っていたわ。

正しい並べ方は ⑥ ③ ① ② ⑤ ④ で、正解は ③ ⑤ である。

空所は I に続き、選択肢に for, granted, it, that, took があるので、「…だということを当然のことと思う [思い込む]」の意味の take it for granted that ... にまとめればよい。したがって、I のあとには took it for granted that を続ける。この構文では it は形式目的語で that 以下が真目的語になる。この that は接続詞で次に節を導くので、残った she'd (= she had) を that の直後に置けば空所直後の told him とつながり、英文が完成する。

着眼点

C 語句組合せ問題

問 1 24 正解 ④ ((A) → (B) → (B))

〔完成文〕 <He> (A) completely forgot (B) his promise (B) to give me the blouse I <had long wanted.>

〔訳例〕 ユキ：あなたはどのようにして旦那さんに対して怒っているの？ 彼はあなたの誕生日にとってもすてきなスカーフをくれたじゃない。

アンナ：ええ、でもそれは私が彼に欲しいと言った物ではなかったの。彼は、私が長い間欲しかったブラウスを私にくれるという約束をすっかり忘れていたのよ。

夫から誕生日祝いにすてきなスカーフをもらったのにどうして怒っているのか、という質問に対する応答文である。アンナは最初に「それは私が彼に欲しいと言った物ではなかった」と述べているので、アンナの「夫」を受ける He に続く流れとしては、(A) completely forgot「すっかり忘れていた」が自然で、(B) remembered well「よく覚えていた」は肯定的な意味合いなので不自然である。2つ目の組には forgot の目的語が続くが、(A) her desire「彼女の願望」では her が指す人が不明なので（この発言中で Anna の願望を表すつもりなら my desire とすべきである）、(B) his promise「彼の約束」が続くと予想される。3つ目の組の(A) to get him the sweater he は、空所のあとの had long wanted につなげれば、「彼が長い間欲しがっていたセーターを彼に買ってあげる」となり、アンナ（妻）の誕生日祝いの話という流れからは不自然である。(B) to give me the blouse I は、空所のあとの had long wanted につなげれば、「私が長い間欲しかったブラウスを私にくれる」となり、2つ目の組の his promise と自然につながる。夫はアンナにブラウスを贈ると言った「約束」を忘れていたので、アンナは怒っていたのである。したがって、④ (A)→(B)→(B)が正解。

設問解説

問 2 25 正解 ⑤ ((B) → (A) → (A))

〔完成文〕 <I> (B) had never heard (A) it (A) sung so beautifully.

〔訳例〕 ヒロキ：ドイツの合唱団が、昨日のコンサートで、アンコールとして日本の歌を歌ったんだ。

メアリー：実は、私もそのコンサートに行ったの。私はそれがそんなに美しく歌われるのを一度も聞いたことがなかったわ。

設問解説

着眼点

設問解説

着眼点

ドイツの合唱団のコンサートで日本の歌が歌われたとヒロキが述べたあとのメアリーの応答文である。まず最初にメアリーもそのコンサートに行ったと述べられている。この流れでIに続く内容は、そのコンサートについてのメアリーの感想になることが予想される。メアリーがコンサートで曲を聞いた感想なので、1つ目の組の(A) had never been heard「聞かれたことがなかった」(受動態の過去完了)は、メアリーが「聞かれた」ことになり不自然。(B) had never heard「聞いたことがなかった」が自然である。2つ目の組は、(A) it is a Japanese song, (B) them は the chorus ([単数・複数扱いで] 合唱団)を受けていると考えられどちらも成立するので、3つ目の組へのつながりから判断する。(A) sung so beautifully. の sung は sing の過去分詞なので「そんなに美しく歌われる」の意味となり、2つ目の組の(A) it からつながって「その歌がそんなに美しく歌われるのを(聞いたことがなかった)」となる(知覚動詞 hear が had never heard (V) it (O) sung ... (C) の第5文型で使われていることに注意)。(B) to sing in public. は「人前で歌う(こと/ための/ために)」の意味の to 不定詞。「人前で歌う」を2つ目の組の(B) them とつなげて、知覚動詞 hear の第5文型でまとめる(had never heard (V) them (O) to sing ... (C)「合唱団が...歌うのを聞いたことがなかった」)ことを考えたかもしれないが、第5文型で使われる知覚動詞の補語に to 不定詞がつながることはない。したがって、⑤(B)→(A)→(A)が正解。

設問解説

問3 26 正解③ ((A)→(B)→(A))

完成文 <I tried> (A) to open it, (B) but it wouldn't open (A) however hard I worked at it.

訳例 スーザン：床に置いてあるその大きな箱の中には何が入っているの、ジョン？

ジョン：わからない。僕は今朝、車庫でそれを偶然見つけたんだ。僕はそれを開けようとしたけど、どんなに一生懸命やってもどうしても開けなかつたんだ。どうやったらそれをなんとか開けられるのかなあ。

箱の中に何が入っているかというスーザンの質問に対するジョンの応答文。ジョンの最後の発言の「どうやったらそれをなんとか開けられるのかなあ」から、箱はまだ開いていないことがわかる。空所の前のI triedに(A)のto不定詞を続けると、I tried to open it,「それを開けようと試みた」となり文の流れに合う。triedに(B)to opening it,をつなげるのは不適切な形である。2つ目の組は、(A)and unexpectedly foundは「そして予想外に...とわかった」の意味で次にfoundの目的語になる名詞節が続くはず。(B)but it wouldn't openは「しかしそれはどうしても開けなかつた」の意味になる。なおこのwouldn'tは「どうしても...しよとしなかつた」の意味。したがって(A)(B)どちらも成立するので、3つ目の組へのつながりから判断する。(A)however hard I worked at it.は、「たとえ私がどんなに一生懸命それに取り組んでも」の意味の副詞節なので、2つ目の組の(A)にはつながらず、(B)につなげるのが自然である。3つ目の組の(B)whenever I look for something.は「私が物を探すときにはいつでも」の意味の副詞節なので、これも2つ目の組の(A)にはつながらない。また、述語動詞lookが現在形であることから(B)につなげて不自然である。したがって、③(A)→(B)→(A)が正解。

第3問

解答

A	問1-③	問2-①	(各4点)
B	問1-①	問2-③	(各5点)
C	32-①	33-③	34-① (各6点)

設問解説

A 対話文の空所補充問題

問1 27 正解③

訳例 サラ：そのバンドは、今すばらしい歌を演奏したわ！

ヒナタ：ええ、前に聞いたことがあるわ。それは彼らの歌？

サラ：いいえ。それは別のバンドの古い歌よ。それは「フラワーズ・フォー・ユー」と呼ばれているの。

ヒナタ：ああ、そうね！ 27

サラ：パープル・スカイという名前のバンドよ。

ヒナタ：今度はパープル・スカイ版も聞いてみたいない！

- ① あなたのCD, 借りられる？
- ② 私たちはちょうど今それを聞いたの？
- ③ 誰がそれを歌ったのか、知ってる？
- ④ その歌を聞く？

正解は③。サラがあるバンドが演奏した歌を話題にすると、ヒナタも聞いたことがあると言う。サラが別のバンドの歌だと説明すると、空所の発言のあとで、サラがその歌を歌ったバンドの名前を述べているので、空所には、誰が歌ったかの情報を求める③「誰がそれを歌ったのか、知ってる？」がふさわしい。その他の選択肢の内容はすべて、空所の次のサラの発言につながらない。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

◇ a band named Purple Sky「パープル・スカイという名前のバンド」 namedは「...に〜と名前をつける」の意他動詞 nameの過去分詞。a bandを後ろから修飾している。

◇ version「...版」

設問解説

問2 28 正解①

訳例 リク：そばを注文したら？ それは僕に日本の大好きなおそば屋さんを思い出させるんだ。

エバン：えっ、僕はここのラーメンの方が好きだよ。

リク：でもきみはいつもそれを注文するよ！ 違ったものを食べてみるべきだよ。

エバン：オーケー、 28。どのそばがお勧め？

リク：僕は野菜の天ぷらをのせたそばが好きなんだ。

エバン：いいよ、そうするよ。

- ① 何か新しいものを食べてみるよ
- ② そばの料理を作ろう
- ③ その店でめん類を買うことができる
- ④ 僕たちは、今回はラーメンを注文しよう

正解は①。いつもラーメンを注文しているエバンに、リクは「違ったものを食べてみるべきだ」と助言する。これに対してエバンは「オーケー」と言ってから空所が続く。空所のあとで、さらにエバンが「どのそばがお勧め？」と述べていることから、エバンはリク

の助言に従ったことがわかる。したがって、空所には①「何か新しいものを食べてみるよ」を入れると自然につながる。ラーメンとは違ったものを注文すべきだというリクの助言にエバンが従う、という流れなので、その他の選択肢の内容はいずれも不自然である。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ Why don't you ...? 「…したらどうですか？」 提案・軽い命令を表す会話の基本表現。
◇ soba noodles 「そば」 ◇ remind O of ... 「Oに…を思い出させる」
◇ prefer O = like O better ◇ dish 「料理；(料理) 一皿分」
◇ why not? 「いいですとも；うん、そうしよう」

B 不要文指摘問題

出典

問1 Original Material

全訳

イングランドの都市リバプールには、多くの不思議な地下トンネルがある。1800年代初頭、ジョゼフ・ウィリアムソンという名の実業家は、「エッジ・ヒル」と呼ばれる地域の下に複数のトンネルを掘るために、大勢の労働者を雇った。①人々は大規模な建設事業の間に古いトンネルを時々見つける。②その作業は、ウィリアムソンが1840年に死ぬまで35年間エッジ・ヒルで続いた。彼のトンネルはまもなく埋められ、多くの人々はそれらについて忘れた。③しかし不思議なトンネルについての話は生き延び、リバプールの歴史ファンはそれらを捜し始めた。④彼らは2001年に1本(のトンネル)を見つけ、それ以来ボランティアたちがウィリアムソンのトンネルをさらに多く発掘し続けている。しかしながら、何年も発掘と調査をしたにもかかわらず、いったいどうして彼がリバプールの有名なトンネルを作ったのか、誰にもわからない！

設問解説

問1 29 正解①

第1・2文の内容から、本文のテーマは「リバプールの地下トンネル」であることがわかる。このテーマを念頭に置いて、第1文から最終文までの流れや前後のつながりを確認するとよい。この段落は以下のように展開する。

第1文＝リバプールには、多くの不思議な地下トンネルがある。

第2文＝1800年代初頭、実業家ウィリアムソンが労働者たちにトンネルを掘らせた。

第3文①＝大規模な建設事業の間に古いトンネルが見つかることがある。

第4文②＝その作業は、ウィリアムソンが1840年に死ぬまで35年間続いた。

第5文＝トンネルはまもなく埋められ、忘れられた。

第6文③＝トンネルについての話は残り、リバプールの歴史ファンはそれらを捜し始めた。

第7文④＝2001年にトンネルが1本見つかり、ボランティアたちはさらに発掘し続けている。

最終文＝しかし何年もの発掘と調査にもかかわらず、彼がトンネルを作った理由はわかっていない。

第3文(下線部①)の「大規模な建設事業の間に古いトンネルが見つかることがある」という内容は、テーマである「リバプールの地下トンネル」そのものを論じるものではなく、前後の文とうまくつながらない。したがって、取り除くべき1文は①。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ home to ... 「…が多く存在する所」 ◇ a number of ... 「多数の…」
◇ hire 「…を雇う」 ◇ construction 「建設(作業)；工事」

- ◇ project 「プロジェクト；事業(計画)」 ◇ bury 「…を埋める」
◇ dig up 「…を掘り起こす；…を発掘する」
◇ despite 「…にもかかわらず」 = in spite of ...

出典

問2 Original Material

全訳

portmanteau「旅行かばん；かばん語」とは、suitcase(スーツケース)に当たるフランス語の単語から借用された難しい英単語である。①多様の品目を入れておくスーツケースのように、かばん語は、2つの別々の語を結合させて新しい語を創り出す。②たとえば、breakfastとlunchという語は、結合されてbrunchというかばん語になるが、それは朝食と昼食の代わりに午前中遅くにとる食事のことである。③brunchの食べ物には、オムレツやパンケーキのようなよくある朝食の食べ物が含まれる。もう1つの例はinfomercialという語で、これはinformationとcommercialのかばん語である。④同様に、motelという語は、主要道路沿いの小さなホテルを表現するために用いられるmotorとhotelのかばん語である。かばん語は、bromance, mathlete, staycationを含むが、面白く独創的である場合が多い。それが、かばん語が英語のなかで人をとても愉快にさせ、記憶に残る部分であること理由である。

設問解説

問2 30 正解③

第1文で「portmanteau『かばん語』とは…」とテーマが示され、最後の2文でも、かばん語が面白い理由が述べられていることから、「かばん語とはどういうものであるかの説明」をしていることを念頭に、各文のつながりを確認しよう。この段落は以下のように展開する。

第1文＝portmanteauとは、スーツケースの意のフランス語から借用された英語である。

第2文①＝かばん語は、2つの語を結合させて新しい語を創り出したものである。

第3文②＝brunchはbreakfastとlunchから創り出された語である。

第4文③＝brunchには、よくある朝食向きの食べ物が含まれる。

第5文＝infomercialは、informationとcommercialのかばん語である。

第6文④＝motelは、motorとhotelのかばん語である。

第7文＝かばん語は、面白く独創的である場合が多い。

最終文＝それが、かばん語が人をとても愉快にさせ、記憶に残りやすい理由である。

第4文(下線部③)の「brunchには、よくある朝食向きの食べ物が含まれる」という内容は、brunchの内容を説明しているだけで、「かばん語とはどういうものであるかの説明」という段落全体の展開に合致しない。また、次の第5文から話題がbrunchに展開しているわけでもない。したがって、取り除くべき1文は③。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ portmanteau 「旅行かばん；かばん語 (= portmanteau word)」
◇ multiple 「多数の；多様の」 ◇ combine 「…を組み合わせる；…を結合させる」
◇ separate 「別々の」
◇ into 変化の結果を表し「…になって；…に変わって」の意味。
◇ infomercial 「インフォーマーシャル」 生活情報や詳しい商品情報を盛り込んだコマーシャル。
◇ similarly 「同様に；同じように」 ◇ describe 「…を表現する」
◇ bromance 「男同士の友情」 ◇ mathlete 「数学オリンピックの参加者」
◇ staycation 「うち休み；巣ごもり[地元] 休暇」
◇ creative 「創造的な、独創的な」 ◇ delightful 「人を愉快にさせる；喜びを与える」
◇ memorable 「記憶に残る；忘れられない」

ファッショントレンドはとてよく変わるの、ついていくのが難しいときもある。変化するスタイルは、衣料品店がもっと多くのジーンズやシャツ、それに靴を売のに役立つ。男性のネクタイ（の幅）は狭くなる年もあれば、また広くなる年もある。①同じことがズボンやジーンズにも当てはまり、だぶだぶの年もある、体にぴったりする年もある。②2000年代中頃以来、ぴったりした「スキニージーンズ」が、アメリカの女性の間でとても人気がある。③衣類メーカーは最近もっとだぶだぶの、もっと着心地がよいジーンズを発売しようとしたが、アメリカの女性たちはそれを買うことにあまり関心がない。④ベルボトムのジーンズは裾の部分が広がっているが、膝の上の部分はぴったりしていることがある。多くのアメリカのファッションライターは、スキニージーンズの流行にうんざりしているが、それは誰もが予想したよりもずっと長く続いている。

設問解説

問3 31 正解④

第1～3文で「ファッショントレンドとその変化」というテーマが示され、最終文で「スキニージーンズの流行」についてコメントしていることから、「ファッショントレンドの変化とその具体例」が説明されていると考えられる。この段落は以下のように展開する。

第1文＝ファッショントレンドは、とてよく変化する。

第2文＝変化するスタイルは、衣料品店の売り上げ増大に役立つ。

第3文＝ネクタイの幅は狭くなったり広くなったりする。

第4文(①)＝同じことがズボンやジーンズにも当てはまる。

第5文(②)＝2000年代中頃以来、スキニージーンズがアメリカの女性の間でとても人気がある。

第6文(③)＝だぶだぶの、もっと着心地がよいジーンズには、アメリカの女性は関心を示さない。

第7文(④)＝ベルボトムのジーンズは裾が広がり、膝の上はぴったりしていることがある。

最終文＝スキニージーンズは、誰も予想しなかったほど長く流行している。

第7文(下線部④)の「ベルボトムのジーンズは裾が広がり、膝の上はぴったりしていることがある」という内容は、「ベルボトムのジーンズ」がどういう物であるかという説明であり、「ファッショントレンドの変化とその具体例」という流れに沿っていない。したがって、取り除くべき1文は④。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

◇ trend 「傾向；流行；はやり」

◇ so ... that S' V' 「とても…なのでS'がV'する」

◇ keep up 「ついていく」

◇ style 「型；スタイル；流行」

◇ true of ... 「…に当てはまる」

◇ loose 「だぶだぶの」

◇ skinny 「(ジーンズが) 超細身の」

◇ manufacturer 「製造業者；メーカー」

◇ introduce 「(商品など) を発売する」

◇ flared 「(ズボンなどが) ベルボトムの」

◇ be tired of ... 「…に飽きている；…にうんざりしている」

◇ last 「続く」

アオト：ミーティングに来てくれてありがとう。どのようにしたら私たちの大学の新入の留学生を助けることができるかについて話し合いたいと思います。留学生クラブのメンバーとして、私たち全員は、ここ[この大学]で外国人の新入生になるということがどういうことか知っています。あなたの提案は？

オーエン：えー、外国人学生はもっと多くの情報を必要としています。初めてイングランドから到着したとき、自分の学生ビザについてたくさん質問があったことを覚えています。私はたくさんのいろいろな人たちに、私が必要な情報を見つけてくれるように頼まなければなりません。私の質問に答えるのに何日もかかりました！ 私たちが必要とする情報のすべてが載っているウェブサイトか、私たちを助けてくれる大学の職員が1人いればいいのですが。

ミア：私もイタリアから着いたとき同じように感じました！ 今でも、留学生に向けた大学の方針を見つけるのに苦労します。私は簡単な質問に対する回答を得ることができるまでに、ほかの学生に尋ねるか、あるいは大学のいくつかのオフィスに電話をしなければなりません。もっと大きな大学には外国人学生を助ける特別なオフィスがあります。

オーエン：私たちの大学はもっと小規模ですから、どうしてそのようなオフィスがないのか理解できます。でも、ウェブサイトがあればとても助かるでしょうね。

アオト：あなたがたがどう思っているのか、よくわかります。あなたがたは2人とも、
32 と考えているのですね。

- ① 留学生は1か所で情報を見つけることができるようにすべきだ
- ② もしあなたがたが十分な人々に助けを求めれば、答えを見つけるのは容易である
- ③ 大学のオフィスで働いている人たちは、普通は電話に出ない
- ④ 学生ビザに関する政府の政策は、混乱を招いている

設問解説

32 正解①

オーエンは「留学生が必要とする情報のすべてが載っているウェブサイトか、助けてくれる大学の職員が1人いればいい」、ミアは「もっと大きな大学には外国人学生を助ける特別なオフィスがある」と述べていることから、空所には①「留学生は1か所で情報を見つけることができるようにすべきだ」がふさわしい。

オーエンもミアも、必要な情報を得るのに多くの人々に聞かなければならず、時間もかかったと述べているので②は不適當。③の選択肢の内容についてはオーエンは言及していない。ミアは「いくつかのオフィスに電話しなければならない」と述べているが、「オフィスで働いている人たちは、普通は電話に出ない」と述べてはいない。④の学生ビザに関する「政府の政策」については、オーエンもミアも言及していない。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

◇ international student 「留学生」

◇ what it's like to be ... What is it like to be ...? 「…であるとはどのようなことか？」の間接疑問。itは形式主語でto以下が真主語。likeは「…に似た；…のような」。

◇ student visa 「学生ビザ」

◇ have trouble - ing 「-するのに苦労する」

◇ policy 「方針」

◇ pick up 「(電話) に出る」

◇ confusing 「困惑させる(ような)；混乱させる(ような)」

全訳

オーエン：ええ、確かに。

アバ：でもどうして大学はこの援助を提供しなければならないのですか？ オーエンが言ったように、ここは小規模な大学です。ほかの学生や私たちのようなクラブも、役に立ちます。ほかの人はわかりませんが、私は自分と同じ年齢の人たちからの助言を聞く方がいいです。そしてまた、ほかの学生と話すことは、新入の留学生が友達を作るのに役立ちます。

ハナ：でも新入生、特に外国からここに来た学生は、誰に聞いたらいいのかわからないことが多いのです。彼らがすぐに答えを必要としている場合はどうしますか？ たとえば、彼らが授業の履修登録をしなければならない場合はどうしますか？ あるいは、彼らが旅行ビザが必要になるか、あるいはパスポートで問題を抱えている場合はどうしますか？ 彼らは必要な助けを得るために何週間も待てません。大学が学生を助けようとしているのはわかるけれど、この大学ですべてのことがどのように機能するのかを知るのは困難ですよ。

アバ：ええ。私が去年初めて着いたとき、どのように感じたか覚えています。私はかなり途方にくれていたけれど、あなたたちみんなに会って留学生クラブに入ってから、事態は好転しました。

アオト：あなたがたは2人ともすばらしい意見を述べていますね。でもあなたがたは33については意見が合わないのですね。

- ① どんなタイプの情報を見つけるのが最も困難か
- ② どの外国の学生が大学に来るべきか
- ③ 誰が新入の留学生を助けるべきか
- ④ どうして留学生はもっと多くの情報が必要か

設問解説

33 正解③

アバは、自分たちの大学は小規模な大学で、留学生はほかの学生と話すことによって、大学に頼らなくとも必要な情報を手に入れることができると主張している。一方ハナは、新入の留学生は、すぐに答えを必要としている場合でも誰に聞いたらいいかわからないことがあることから、大学による留学生のための援助の提供がもっと必要であると示唆している。したがって、空所には③「誰が新入の留学生を助けるべきか」がふさわしい。

①は、ハナは留学生が必要とする情報について言及しているものの、を見つける困難さについては比べておらず、アバはこの内容については全く言及していない。したがって、この選択肢の内容については、2人は議論していないことがわかるので不適当。②、④の内容については、2人は全く言及していない。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ definitely 「確かに；間違いなく」
- ◇ the rest 「その他の人々 [物]」
- ◇ help O + 動詞の原形 「O が…するのに役立つ」
- ◇ What if ...? 「(主に好ましくないことが) …したらどうなるだろうか？」
- ◇ sign up for ... 「…の受講登録をする」
- ◇ lost 「途方にくれた；どうしてよいのかわからない」
- ◇ assistance 「手伝うこと；援助；助力」
- ◇ people my own age 「私自身の年齢の人々」

全訳

サミール：私は、大学が方針やどこに行けば援助が得られるかをもっと容易に知ることができるようになってくれればいいなと思います。アバのように、私も去年着いたとき大変でした。簡単なウェブサイトがあれば、私たち全員の役に立っただろうと思います。

アバ：すばらしいわ、1つ作りましょう。

ハナ：そうですね。

オーエン：よさそうですね！

アオト：えー、私たち全員は、留学生は34という点で意見が一致しています。それでは、私たちのウェブサイトは何を入れるかについて話し合いましょう。

- ① 大学では有益な情報を簡単に見つけることができない
- ② 適切な情報を見つけるために十分な努力をしていない
- ③ 質問に答えてもらうための多くの手段をもっている
- ④ 大学生活に順応する援助をほかの学生に求めるべきである

設問解説

34 正解①

サミールは発言の第1文で、「私は、大学が方針やどこに行けば援助が得られるかをもっと容易に知ることができるようになってくれればいいなと思います」と仮定法で表現しているので、現実には「留学生が援助を得られる場所を見つけるのは困難である」ということを示唆していることがわかる。サミールの「ウェブサイトがあれば、役に立っただろう」と経験を振り返っている発言に続けてアバが「1つ作りましょう」と提案し、そうすることになる。このディスカッションの先行する部分では、オーエン、ミア、ハナは「留学生のための大学による援助」の必要性、アバは「留学生はほかの学生を利用すべき」という主旨の発言をしている。方法についてはさまざまな意見が出るものの、留学生クラブのメンバー全員が一致している意見として、空所には①「大学では有益な情報を簡単に見つけることができない」を入れるのがふさわしい。この認識を共有しているので、アバの「1つ(ウェブサイトを)作りましょう」という提案に賛同し、アオトの最後の「それでは、私たちのウェブサイトは何を入れるかについて話し合いましょう」という発言が続くのである。

②、③の内容は、留学生クラブのメンバーの発言中にない。④の内容はアバの発言中だけに見られるので、「全員の意見が一致」としては不適当。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ I wish the university made it easier to learn ... 〈願望〉を表す仮定法過去。itは形式目的語でto以下が真目的語。「大学が…もっと容易に知ることができるようになってくれればと思う」
- ◇ A simple website would have helped all of us. 仮定法過去完了。主語 a simple website がif節の代用。「もし簡単なウェブサイトがあれば」
- ◇ resources 「手段；方策」
- ◇ getting their questions answered 〈get + O + 過去分詞〉「Oを…してもらう」
- ◇ adjust to ... 「…に順応する」

第4問

解答

A 問1 - ②	問2 - ①	問3 - ④	問4 - ②	(各5点)
B 問1 - ④	問2 - ①	問3 - ④		(各5点)

A グラフ付き英文読解問題

出典

Organization for Economic Cooperation and Development (OECD), "Health at a Glance 2015"

全訳

あなたは診察室を訪れると、たいていまず医師に診てもらい、それから帰る際に診療に対する支払いをする。しかし、あなたが支払う額は診療にかかった全額ではない。あなたかあなたの両親は健康保険に入っているので、費用のほとんどは保険制度によって医師に対して支払われるのであり、患者によるのではない。

このことは日本に住んでいる人たちにはとても普通のことに思えるかもしれないが、医療制度は国によって大いに異なっている。日本を含めた多くの先進諸国は国民皆医療制度をとっていて、その制度で、すべての住民は病院やクリニックを訪れたとき、減額された料金を払うか、あるいは全く払わないでいられる。行政か公的保険制度が、あなたに代わって医療費のほとんどを賄ってくれるだろう。しかし、たとえばアメリカ合衆国は、すべての国民を対象とした国民医療制度をもっていない。

ほぼすべての OECD 諸国では、公的部門が医療財政の主な源泉である。平均すると、2013 年には、医療費のほぼ4分の3が公的資金により調達された(図1)。スウェーデンや英国のようないくつかの国では、国か地方の行政が全医療費の80パーセントより多くを賄っていた。日本やドイツを含めたほかの国では、社会保険制度が全医療費の70パーセントかそれ以上を支払っていた。アメリカ合衆国は、OECD 諸国のなかで、民間保険制度によって医療費が調達されている割合が最も高かった。

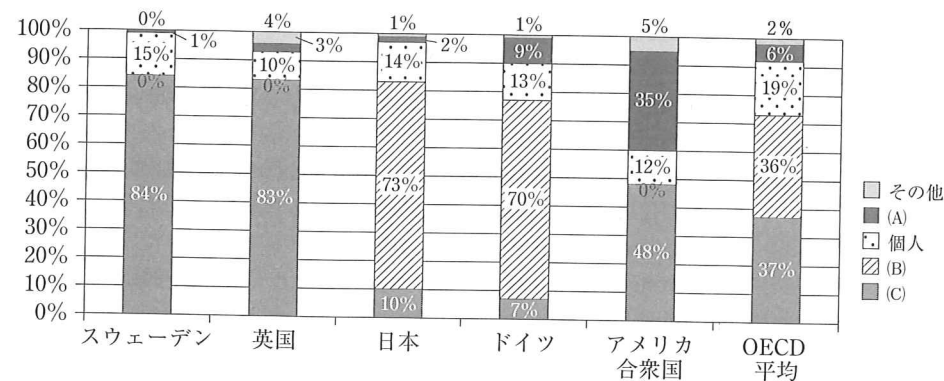


図1. 財政の種類による医療に対する支出 2013年

アメリカ合衆国のような国が国民皆医療制度をもっていないと聞いて、あなたは驚くかもしれない。その理由は実行可能性というよりも主義・主張の問題なのである。国民皆医療(制度)の反対者は、どの医療サービスが範囲に入るのかを決めるのは行政であるべきではないと主張している。消費者が自分の必要に合った保険プランを選ぶことができるべきなのだ。だから、民間の保険会社にさまざまな保険プランを提供させ、価格やサービスで競争させるのが一番よいことなのだ、というのが彼らの主張なのである。

健康保険プランを携帯電話になぞらえるならば、この考えを理解するのは容易かもしれない。私たちが皆必要としているので、行政が全国民に携帯電話を提供することに決める、ということにしてみよう。すべての人が同じデータ量の同じ機種をもらうのだ。あなたはそのような取り決めを気に入るだろうか？ あなたは、最新の機種を手に入れられるようにしてほしいと言うかもしれない。あるいは、使わないであろう人にさえ携帯電話をあげるのは、納税者が払ったお金の浪費だと考えるかもしれない。民間の企業が競い合う市場の方が革新をよりよく推進するのかもしれない。

しかし、医療は携帯電話ではない。あなたが保険に入っているか否かは、文字どおり生死の違いを意味するだろう。だから、行政が関わるべきだと信じているアメリカ人の数が現在増えている。2017年の初頭の時点で、調査対象となったアメリカ人の60パーセントが、行政にはすべてのアメリカ人のための医療制度を設立する責任があると述べた。それと比較して、行政の責任とすべきではないと述べた人々は38パーセントだった。このように、アメリカ合衆国では近年において、医療改革が最も議論されている話題の1つになっている。

各段落の要旨

[第1段落]

病院でかかる費用の多くは健康保険から支払われている。

[第2段落]

多くの先進国は国民皆医療制度をとるが、アメリカ合衆国はそうではない。

[第3段落]

スウェーデンや英国では行政による保険の割合が、日本やドイツでは社会保険の割合がそれぞれ高いが、アメリカ合衆国では民間保険の割合がほかのOECDの国よりも高い。

[第4段落]

アメリカ合衆国では保険プランの選択は、行政が決めることではなく個人が決めるべきだとする考えがあり、保険会社の自由競争に任せて、それを個人が享受するのがよいとする考えが根強い。

[第5段落]

それは携帯電話を選ぶ際に人が自由を求めることを思えば理解しやすい。

[第6段落]

しかし、アメリカ合衆国でも近年、行政による医療制度の設立が議論されてきている。

設問解説

問1 35 正解②

「次のどの項目が、図1で(A)(B)(C)として表されているか」

- ① (A) 民間保険 (B) 行政 (C) 社会保険
- ② (A) 民間保険 (B) 社会保険 (C) 行政
- ③ (A) 社会保険 (B) 行政 (C) 民間保険
- ④ (A) 社会保険 (B) 民間保険 (C) 行政

第3段落第3文(In some countries ...)に、「スウェーデンや英国のようないくつかの国では、国か地方の行政が全医療費の80パーセントより多くを賄っていた」とあり、(C)が「国か地方の行政」と判断できる。また、第4文(In other countries ...)に、「日本やドイツを含めたほかの国では、社会保険制度が全医療費の70パーセントかそれ以上を支払っていた」とあり、(B)が「社会保険」であることがわかる。さらに、最終文(The United States ...)に「アメリカ合衆国は、OECD 諸国のなかで、民間保険制度によって医療費が調達されている割合が最も高かった」とあり、(A)が「民間保険」と判断できる。以上から、②「(A) 民間保険 (B) 社会保険 (C) 行政」が正解。

問2 36 正解①

「この文章によれば、なぜアメリカ人のなかには国民皆医療制度の考えに反対する人がいるのか」

- ① 彼らは、国民皆（医療）制度が消費者としての選択肢を制限するだろうと考えている。
- ② 彼らは、行政が関与すると医療費が上がるだろうと考えている。
- ③ 彼らは、行政がそのような複雑な制度を管理することはできないと考えている。
- ④ 彼らは、医療の質がマイナスの影響を受けることになるだろうと考えている。

第4段落第3文 (Opponents of universal ...) に「国民皆医療（制度）の反対者は、どの医療サービスが範囲に入るのかを決めるのは行政であるべきではないと主張している」とあり、行政の介入に反対する旨が述べられている。さらに、第4文 (Consumers should be ...) には「消費者が自分の必要に合った保険プランを選ぶことができるべきなのだ」と主張が展開されている。したがって、①「彼らは、国民皆（医療）制度が消費者としての選択肢を制限するだろうと考えている」が正解。

その他の選択肢は、いずれも本文中に関連する記述がない。

問3 37 正解④

「この文章の主な目的は 37 ことである」

- ① どのようにすれば行政は医療費を削減できるのかを分析する
- ② さまざまな健康保険プランを比較する
- ③ 長年にわたる医療制度の進歩を記述する
- ④ 医療制度に対する姿勢の国ごとの違いを説明する

第2段落第1文 (That may seem ...) 後半で「医療制度は国によって大いに異なっている」と述べられており、第3段落では国ごとの保険制度の違いが具体的に比較されている。そして第4段落以降では、他国と大きく異なるアメリカ合衆国における医療制度を中心に説明がなされているが、文章全体の主題をまとめると④「医療制度に対する姿勢の国ごとの違いを説明する」がふさわしい。

その他の選択肢はいずれも本文中に関連する記述がなく、また文章全体の中心となるテーマを述べているものでもない。

問4 38 正解②

「最終段落に続く話題として最も可能性が高いものはどれか」

- ① 医療と保険の比較
- ② アメリカ合衆国における最新の政策論争
- ③ 独占と競争の経済学
- ④ 近年における主要な医学の進歩

最終段落第3文 (So more Americans ...) に「行政が関わるべきだと信じているアメリカ人の数が現在増えている」と述べられ、第4文 (As of early ...) には、行政が関与すべきであると考えた人と、関与すべきではないと考える人の割合が具体的に数値で示されている。その内容を受けて、最終文 (Health care reform ...) では「このように、アメリカ合衆国では近年において、医療改革が最も議論されている話題の1つになっている」と述べていることから、この段落に続く可能性がある話題は、②「アメリカ合衆国における最新の政策論争」であることがわかる。なおここにある policy debate とは、国が医療制度の整備に深く関わるべきか否か、ということの是非を問う「政策論争」のことだと考えられる。

その他の選択肢はいずれも最終段落で触れられている事柄と関連がなく、あとに続く話題とは考えられない。

主な語句・表現

[第1段落]

(When you visit ...)

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ doctor's office 「診察室」
- ◇ health insurance 「健康保険」
- ◇ insurance program 「保険プログラム [制度]」
- ◇ patient 「患者」 直前の文との関係で not the patient = not by the patient と見なせる。
- ◇ on one's way out 「出て行くときに」
- ◇ majority 「大部分；大多数」

[第2段落]

(That may seem ...)

- ◇ health care 「医療 [健康管理]」
- ◇ significantly 「著しく [かなり]」
- ◇ universal health care system 「国民皆医療制度」
- ◇ resident 「住民」
- ◇ fee 「料金」
- ◇ cover 「〈費用〉を賄う」
- ◇ vary 「異なる；一様でない」
- ◇ depending on ... 「…によって [応じて]」
- ◇ reduced 「減額された」
- ◇ public insurance program 「公的保険制度」
- ◇ national health care program 「国民医療制度」

[第3段落]

(In nearly all ...)

- ◇ nearly 「ほとんど」
- ◇ health care financing 「医療財政」
- ◇ finance 「…の資金を調達する」
- ◇ public sector 「公的部門」
- ◇ on average 「平均して」
- ◇ proportion 「割合」

[第4段落]

(You might be ...)

- ◇ principle 「原理 [原則]；主義 [信念]」
- ◇ opponent 「反対者」
- ◇ have (V) ... companies (O) offer (動詞の原形) ... and compete (動詞の原形) は使役動詞 have を用いた第5文型。
- ◇ compete 「競争する」
- ◇ practicality 「実行可能性」
- ◇ fit 「…に合う」

[第5段落]

(It may be ...)

- ◇ compare A to B 「A を B になぞらえる」
- ◇ arrangement 「取り決め」
- ◇ latest 「最新の」
- ◇ taxpayer 「納税者」
- ◇ promote 「…を推進 [促進] する」
- ◇ data amount 「データ量」
- ◇ pick 「…を選ぶ」
- ◇ waste 「浪費」
- ◇ give away 「…をただでやる」
- ◇ innovation 「革新」

[第6段落]

(However, health care ...)

- ◇ literally 「文字どおり」
- ◇ as of ... 「…の時点で […現在で]」
- ◇ surveyed 「調査がなされた」 ここは直前の名詞 Americans を修飾している。
- ◇ responsibility 「責任」
- ◇ compared with ... 「…と比較して」
- ◇ thus 「このように」
- ◇ involved 「関係して」
- ◇ establish 「…を設立する；…を制定する」
- ◇ reform 「改革」
- ◇ debated 「議論されている」

[設問・選択肢]

- ◇ represent 「…を表す」
- ◇ limit 「…を制限する」
- ◇ be incapable of -ing 「-することができない」 incapable は形容詞。
- ◇ manage 「…を管理 [経営] する」
- ◇ negatively 「否定的に；マイナスに」
- ◇ analyze 「…を分析する」
- ◇ describe 「…を記述する」
- ◇ over ... 「…の間 [にわたって]」 over は〈期間〉を表す前置詞。over the years で「長年にわたる」の意味。
- ◇ attitude 「姿勢；態度」
- ◇ current 「現在の [最新の]」
- ◇ oppose 「…に反対する」
- ◇ involvement 「関与」
- ◇ complex 「複雑な」
- ◇ affect 「…に影響する」
- ◇ cut down 「…を削減する」
- ◇ progress 「進歩」
- ◇ comparison 「比較」
- ◇ policy 「政策」

- ◇ debate 「討論 [論争]」 ◇ monopoly 「独占」
 ◇ competition 「競争」 ◇ advance 「進歩」

B 実用・実務英文読解問題

Original Material

◇エセックス庭園◇

1万種類の植物がある、美しい12の庭園を訪れましょう。

春のウォーキングツアー

- 日本庭園：作家のダン・イズミ氏と日本庭園を歩き、日本の造園の伝統の歴史について学びましょう。このツアーは60分で、土曜日と日曜日の午後2時に始まります。
- イングリッシュ・ローズ・ガーデン：当園のバラは3月後半に開花します！ 1,200種類のバラを見て、庭師のトレーシー・チェン氏から自分のバラを育てる方法を学びましょう。このツアーは70分で、土曜日と日曜日の午前11時に始まります。
- ナイト・ウォーク：コウモリやその他の夜行性の生き物を探し、夜に咲く珍しい花を觀賞しましょう！ このツアーは90分で、木曜日と土曜日の午後8時に始まります。このツアーを案内するのはエセックス庭園の職員です。
- 砂漠ガーデン：5,000種類のサボテンや砂漠の植物を集めた世界で最大の砂漠ガーデンの1つです。科学者のラロ・ディアズ氏から、この珍しい植物についてあらゆることを学びましょう。ツアーは60分で、土曜日と日曜日の午前11時に始まります。

今週のツアー情報

ツアー	出発地	最大定員数	入手可能チケット	クリックして予約
日本庭園	東口	12	土曜日	予約
イングリッシュ・ローズ・ガーデン	ローズカフェ	24	日曜日	予約
ナイト・ウォーク	西口	12	木曜日	予約
砂漠ガーデン	ビジターセンター	36	土曜日・日曜日	予約

ツアー料金

大人 - 10ドル 学生 - 5ドル
 子ども（8歳未満） - 無料 シニア（55歳より上） - 5ドル
 クラス・学校グループ - エジュケーション・オフィス（212-555-4477）にお電話を。

設問解説

問1 39 正解④

「春のツアーのなかの1つでは、エセックス庭園を訪れる人たちは 39 ことができる」

- ① サボテンかほかの砂漠の植物を持ち帰る
- ② 自分自身の日本庭園の作り方を学ぶ
- ③ バラを研究している科学者と話をする
- ④ 暗くなったあとでしか咲かない花を觀賞する

「ナイト・ウォーク」の記述のなかに「夜に咲く珍しい花を觀賞しましょう」とあること

から、④「暗くなったあとでしか咲かない花を觀賞する」が正解。①は、「砂漠ガーデン」の説明のなかに「サボテンや砂漠の植物を集めた世界で最大の砂漠ガーデンの1つ」とあるが、「持ち帰る」とは述べていない。②は、「日本庭園」の説明のなかにこのような記述はない。③は、「砂漠ガーデン」の説明のなかに「科学者のラロ・ディアズ氏から、この珍しい植物についてあらゆることを学びましょう」と「科学者」が登場するが、この科学者は砂漠の植物の研究者であり、バラの研究をしているわけではないので、不適当。

問2 40 正解①

「2人の子どもがいる夫婦が今週の土曜日の午後に、少人数のほかの客たちとのグループで見学をするに関心を持っている。彼らはどこでツアーガイドと会う可能性が最も高いか」

- ① 東口
- ② ローズカフェ
- ③ ビジターセンター
- ④ 西口

今週の土曜日の分のチケットが買えるのは、「今週のツアー情報」の表のなかの「入手可能チケット」から「日本庭園」と「砂漠ガーデン」だとわかる。「日本庭園」の記述には「午後2時に始まります」とあり午後に行われるという条件を満たすが、「砂漠ガーデン」には「午前11時に始まります」とあり、条件を満たしていない。したがって、この夫婦が参加しそうなのは「日本庭園」に決まる。再び「今週のツアー情報」から「日本庭園」は「東口」が出発地（Starting Place）であることがわかるので、①「東口」が最も適当である。②、③、④はいずれも上記の条件を満たしていない。

問3 41 正解④

「54歳の男性が、娘と彼女の高校の友人3名と一緒に庭園を訪れている。どれか1つのツアーに参加するには、彼らはいくら支払うことになるか」

- ① 10ドル
- ② 20ドル
- ③ 25ドル
- ④ 30ドル

「ツアー料金」（Tour Prices）から、54歳の男性の料金は10ドルであり、高校生の料金は5ドルであることがわかる。高校生は合計4名（娘1人＋友人3人）なので、5ドル×4。すべてを合計して、④「30ドル」が正解。

主な語句・表現

[広告]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ gardening 「造園；園芸」
- ◇ 60-minute これ「60分の」の意味の形容詞として tour を修飾している。
- ◇ gardener 「庭師」 ◇ bat 「コウモリ」
- ◇ nighttime 「夜 [夜間]」 ここは形容詞的に直後の creatures を修飾している。
- ◇ creature 「生き物」 ◇ rare 「珍しい」
- ◇ led ここは lead 「…を案内する [導く]」の受動態で使われる過去分詞形。
- ◇ desert 「砂漠」 ◇ cactus 「サボテン」
- ◇ maximum 「最大の」 ◇ available 「入手できる；利用できる」
- ◇ entrance 「入り口」 ◇ under ... 「…未満の」
- ◇ senior 「高齢者 [お年寄り]」 ◇ over ... 「…より上の」

[設問・選択肢]

- ◇ blossom 「花を開く」 ◇ likely 「たぶん [おそらく]」

第5問

解答

問1-④

問2-④

問3-①

問4-②

問5-①

(各6点)

物語文読解問題

出典

Original Material

※解説の便宜上、本文を意味的なまとまりで[1]～[6]の区分に分けています。

全訳

[1] 高校1年生の間ずっと、私はいつも15分か20分遅刻していました。授業に出るのか、友人に会うのか、両親の手伝いをするのかに関係なくそうでした。

登校前の朝の時間に、私にはやるべきことがたくさんありました。お風呂に入り、服を着て、昼食のお弁当を詰め、教科書を捜し出すことに、いつも思っていたよりも時間がかりました。時間どおりに家を出たときでさえ、バスが遅れたり、何かほかのことがあったりして私は遅刻していました。

ありがたいことに、ゴメス先生は優しくしてくれました。私が15分遅れて教室に入ると、先生は「授業に参加してくれてありがとう、ポリー」とよく言ってくれました。クラスメイトも私が授業に遅れないように助けてくれたし、ゴメス先生は私が授業中一生懸命に勉強しているのをわかってくれていました。でもそれでもなお、私は悪い気がしていました。

[2] ほかの人たちがくつろいでいるようなのに、私はいつも慌てふためいているような気がしていました。自分が遅れそうとき、さらに遅れそうなことがある度に、私はいっそう心配になっていました。時に、遅刻することで問題が生じることもありました。たとえば、映画を観るのに友人たちと会うとき、私は映画が始まってから映画館に到着するのが普通でした。暗い映画館の中で、友人たちを見つけるのは大変でした。

[3] ある日のこと、2人の友人が私にいたずらをしました。私は土曜日の正午にオリビアとジェンと会って昼食をとることにしていました。私は今度だけは間に合いたいと思っていました。でも寒かったので、何を着ていけばいいのかわかりませんでした。それから妹が台所の片づけをする手伝いをしなければなりません。さらに、約束したカフェを見つけるのに手こずりました。そんなわけで、私が着いたのは12時25分だったんです！でも友人たちの姿はどこにもありませんでした。それで私はオリビアにメールを送り、2人はどこにいるのか聞きました。彼女からは「12時半に会いましょう。あなたが遅れるだろうとわかっていたので、あなたには30分早い待ち合わせ時間を言っておいたの！」との返信がありました。

私は恥ずかしさを感じましたが、オリビアとジェンがカフェに歩いて入ってきたとき、私たち皆で笑い、このことで冗談を言い合いました。

[4] その翌週末、両親は私の祖母を訪れる計画を立てました。両親は金曜日の4時15分の急行列車の切符を4枚買いました。私は3時半まで学校があるので、駅で合流することにしました。時間的に余裕がないことはわかっていたのですが、心配はしていませんでした。公園を抜けていく近道があるので、学校から駅まではほんの20分歩くだけでいいのです。私は3時35分に学校を出ましたが、ゴメス先生の教室に上着を置き忘れてきたことを思い出しました。それを取りに戻ったあと、公園が閉園されていることがわかったんです。そこでもっと長いルートで行かなければなりません。予想よりもずっと時間がかかってしまったのです。駅に着いたのは4時25分で、列車は出たあとでした！

駅にいたのは父だけでした。母と妹は4時15分の列車に乗っていったからです。父はひどくがっかりしているように見えました。

「お父さん、本当にごめんなさい」

「ポリー、お前はなぜこの1回だけでも時間どおりにできなかったんだい？ 次の列車は6時半だけど、急行じゃないんだ。だから真夜中まで着けそうにないよ！ そのときおばあちゃんは眠っているだろうな。おばあちゃんに会える機会はこんなにも少ないというのに！」

[5] 私は起きたことをすべて説明しましたが、父は言い訳は聞きたがりませんでした。

「毎回遅れる度に、1つ1つ行動の選択をしているのはお前なんだぞ。15分か20分早く出ることもできるだろう。そうすれば、いつだって間に合うだろう。でもお前はそうしない、だから遅刻するんだよ」と父は言いました。

はじめ、父は不公平な見方をしていると私は感じました。でもそのとき、私はこのことについて考えてみました。私には、学校をもっと早く出るとか、公園が開いているのかどうか調べるとかできたでしょう。同じことはゴメス先生の授業の場合にも当てはまりました。20分早く学校に行くようにすれば、バスが遅れているとしても時間どおりに行けるでしょう。

[6] おばあちゃんのところから戻ってきてから、私は遅れないように試してみようと心に決めました。父の忠告が本当に効いたのです。私は時間どおりに授業に着いたり、映画が始まる前に友人たちと会うようになり始めたのです！

ゴメス先生や友人たちは気づいてくれました。このことを考えると、自分が変わるのに手痛い出来事が必要だったのだと私にはわかります。今や私はいつも5分早めに来るので、人にかかわられています。でもこの方がずっとホッとするんですよ！

設問解説

問1 42 正解④

「ポリーは自分が遅刻する可能性があると思ったとき、42 感じた」

- ① ゴメス先生が遅刻のことで不満を述べたので、悪く
- ② 他人が彼女の遅刻を容認してくれたので、くつろぎを
- ③ 自分が他人の気持ちを傷つけてしまったので、悲しく
- ④ さらに遅れたくなかったので、不安に

第1場面でポリーの遅刻癖を、学校に遅刻する場面を具体例に挙げて述べているが、それに続く第2場面の第2文(When I was ...)を参照する。そこに「自分が遅れそうとき、さらに遅れそうなことがある度に、私はいっそう心配になっていました」とあるので、正解は④「さらに遅れたくなかったので不安に」となる。本文では「遅れそうときにさらに遅刻の原因となるようなことがあると、もっと心配になる」とあるが、そのように心配するのは「彼女としては『これ以上』遅れたくない」と思っているからだと考えられる。その点を明示したのが④である。また④にあるuneasyは、本文のworriedの言い換えとなっている点も見逃さないようにしよう。

第1場面最終部分にI still felt badとあるので、その前後に注目すればよいが、「ゴメス先生が不満を述べるので、ポリーは自分の遅刻を悪いと感じていた」とする記述は本文にはない。むしろ同場面第6文ではゴメス先生の対応は「優しい」(kind)と述べられているし、また第7文(“Thank you for ...”)より、授業に遅れてきたポリーを温かく迎え入れていることがわかる。さらに第8文(My classmates helped ...)後半に「ゴメス先生は私が授業中一生懸命に勉強しているのをわかってくれていました」ともあり、先生はポリーの遅刻をとがめるよりも彼女の勉学への努力を評価していたことが読み取れる。以上の点より①は明らかに誤りである。②のrelaxedという語は第2場面第1文(I felt like ...)の後半にあるが、それはポリー以外の他人の気持ちを述べている箇所である。そもそも「他者が彼女の遅刻を受け入れてくれたので、遅刻する可能性があると思ったときリラックスした」という内容は本文のどこにもない。ポリーが自分の遅刻で他者の気持ちを傷つけたことを反省して悲しんでいることが明確に述べられている箇所は本文にはないので③も誤り。

問2 43 正解④

「ポリーがカフェに着いたとき、友人たちはそこにいなかったが、それは友人たちが

43 からである」

- ① 偶然に昼食に遅く到着した
- ② いつ落ち合うことになっていたのか忘れた
- ③ あとで彼女に会いたいと頼むメールを送った
- ④ 彼女には正しくない待ち合わせ時間を告げていた

ポリーが友人たち（オリビアとジェン）と昼食をとる約束をしたときのことは第3場面に詳しい。そのときも相変わらず彼女は遅刻したわけだが、友人たちがそれを見越して「わざと待ち合わせの時間を早めて彼女に伝えていた」ことが、同場面第10・11文（She replied, ... We knew ...）からわかる。どうせ遅れるなら、ということで、ポリーには30分早い時間を伝えていたわけである。したがって正解は④「彼女には正しくない待ち合わせ時間を告げていた」となる。空所直前のtheyはher friendsを指すことを確認しておこう。

友人たちが遅刻したわけではないので①は誤り。第3場面全体より、友人たちが待ち合わせ時間を忘れていたのではないことが明白なので②は誤り。③は、友人のオリビアがメールを送ったことは同場面第10文（She replied, ...）にあるが、それはポリーが友人たちの居場所を尋ねるために送ったメールへの返信であり、友人たちがポリーに時間変更を依頼するメールを送ったということではない。

問3 44 正解①

「ポリーの父親は『1つ1つ行動の選択をしているのはお前なんだぞ』と言ったが、その理由は彼女が 44 と父親は思ったからである」

- ① 自分の行動を変えることで時間どおりに着くことができる
- ② おばあちゃんのところを訪ねたくない
- ③ その日は遅れても仕方がないもっともな理由がある
- ④ 常に遅れても仕方がない

第5場面にある下線部（you're making a choice）の直訳を考えると、「あなたは1つの選択をしているところだ」となるが、それをこの文脈に即してとらえ直せば、「遅刻するときというのは、その遅れの原因となるような、細々とした1つ1つの出来事を、あなたは（無意識のうちにでも）選択しているのだ」ととらえられるであろう。それは裏を返せば「やろうと思えば遅刻しないように早めに行動できるのに、あなたはそうしていない」という相手を非難する言葉と見なせる。そのことは第5場面第5文（But you don't, ...）「でもお前はそうしない、だから遅刻するんだ」がポリーへの非難の言葉となっていることからわかる。したがって、父親は「今の自分の有り様を改めれば遅刻しないようにできるだろう」という気持ちを込めてこの発言をしていると見なせるので、正解は①「自分の行動を変えることで時間どおりに着くことができる」となる。

ポリーが祖母の家を訪ねたくなかったことを伝える記述は本文にないので②は誤り。③については、第4・5場面が、父親が下線部にある発言をしたことに関わる部分だが、そこからポリーに当日遅れるだけの正当な理由があったことは読み取れない。第5場面後半（At first, ... 以下）で、当初、父親の非難を不当なものと感じたが、再考して、自分の行動の至らなさを反省する言葉がそのあとに続いている。したがって、ポリーのみならず父親も「その日の遅刻にはもっともな理由があると思った」と考えることはできない。④のbe unable to (= cannot) help -ingという表現は「-するのは仕方がない[-せずにはいられない]」の意味である（helpについては（主な語句・表現）を参照のこと）。父親がポリーの遅刻は致し方ないとあきらめ気味に発言している箇所は本文にはない。

問4 45 正解②

「物語の終わりで、ポリーは人に笑われるのをいやがっていないが、それは 45 からである」

- ① いつも遅刻するのはこっけいである
- ② 彼女は自分の新しい習慣を気に入っている
- ③ 彼女はそれでもなお自分の過去の行動について悪いと思っている
- ④ 人々は彼女が変わるのはどれくらい大変だったのか知らない

問題指示文にあるように最終部分である第6場面を参考にする。自分の遅刻癖のせいでいやな経験をしたあと、ポリーは父親の忠告を聞いて、授業開始時間や友人との約束の時間を守るようになり始めた（第6場面第3文（I started arriving ...））ことがわかる。続く第4文（Mr. Gomez ...）以降で周囲の人が彼女の変化に気づき、それをからかうまでになっていることが読み取れる。そして最終文（But it's far ...）に「この方がずっとホッとする」とあるので、ポリーは「時間厳守するようになったことで笑われても、その方がホッとする」、つまり自分の新しい状況を肯定的に受け入れ、笑われるのをいやがっていないことがわかる。したがって、正解は②「彼女は自分の新しい習慣を気に入っている」となる。

ポリーが他人に笑われることを気にしないのは「遅刻はこっけいである[おかしい]からだ」とは述べられていないので①は誤り。ポリーが自分の過去の遅刻癖を引け目に感じているので、他人に笑われることを気にしないでいる、という妙な展開も本文からは全く読み取れないため③も誤り。他人がポリーの変化がどの程度困難だったのかかわっているのかいないのか、という点は本文では全く述べられていないので④も不適当。

問5 46 正解①

「この物語のテーマは何か」

- ① 変化するためには、自分で本当にそうしたいと思わなければならない。
- ② 不作法な人たちを許すのは簡単である。
- ③ 今日の人たちは急ぐことにあまりに多くの時間を費やしている。
- ④ 時に両親を喜ばせるのが難しいことがある。

遅刻常習者だったポリーが自分の生活態度を改めたことがこの物語の結末であるが、そのように自分を変えられたのはなぜかを考えれば、それがテーマにつながることになるであろう。ポリーが自分の遅刻癖を反省して真剣に考えるようになったきっかけは、祖母の家に行くときに待ち合わせの列車に遅刻したことである。そのことで父親に叱られ、第5場面後半の第7文（But then I ...）以降で、それまでに遅刻した状況でそうならないために自分には何ができたかを考えている。さらに、第6場面第1文（After we returned ...）以降で、「遅刻しないように父親の忠告を受け入れてやってみよう」と決意を述べている。それに応じて、彼女の遅刻癖が改善に向かったことは、第6場面第3文（I started arriving ...）以降から読み取れる。つまり、ポリーの遅刻癖は、自分でなんとかしようと思ったことで改善に向かったのである。したがって、そのことを述べている①「変化するためには、自分で本当にそうしたいと思わなければならない」が正解となる。

②にある「不作法な人たち（people who are impolite）」は、遅刻するポリーのような人々のことかもしれないが、そもそも「無礼な人たちを許すかどうか」ということは、この物語では全く触れられていない。③のような現代社会の慌ただしさ、といったことは本文の中心的な話題ではない。第2場面第1文（I felt like ...）にrush「急ぐ；慌てる」という語が出てくるが、それは遅刻癖のあるポリーが自分の気持ちを述べただけであり、現代人の慌ただしい生活を一般化して述べているわけではない。④については、この物語のなかでplease your parents「両親を喜ばせる」が実質的に何を意味しているのか、あまりに漠然としていてとらえどころがなく、またそのようなことは本文に記述もないのでテーマとはなりえない。

主な語句・表現

・問題冊子を参照のこと。

【第1場面】

(During my ...
felt bad.)

- ◇ It ... whether S' V It は後続する whether 節と対応する形式主語。
◇ matter 「重要 [問題] である」 ◇ bathe 「入浴する」
◇ pack 「...を詰める」 ◇ on time 「時間どおりに; 定刻に」
◇ delay 「...を遅らせる」 ◇ luckily 「幸運 [好都合] にも」
◇ walk in 「入室する」 ◇ keep up 「遅れないでついていく」

【第2場面】

(I felt ... dark
theater.)

- ◇ feel like S' V 「S' V であるかのような気がする」
◇ rush 「急ぐ; 慌てる」 ◇ relaxed 「くつろいだ」
◇ additional 「追加の」
◇ even 「さらに [なおさら; いっそう]」 ここは直後の比較級 (more worried) を強調する使い方。
◇ worried 「心配して [困った]」 ◇ create 「...を作り出す」

【第3場面】

(One day, ...
about it.)

- ◇ play a trick on ... 「...にいたづらをする」
◇ for a change 「気分転換に [今度だけは; たまには]」
◇ baby 「(家族の) 年下の子 [末っ子]」
◇ have trouble -ing 「-するのに苦労する」
◇ text message 「携帯電子メール (携帯電話で送る文字メッセージ)」
◇ embarrassed 「当惑した [恥ずかしい; 決まりの悪い]」
◇ joke 「冗談を言い合う」

【第4場面】

(The next ... see
her!")

- ◇ plan to ... 「...するつもりである」 ◇ close 「接近した [ごく近い]」
◇ shortcut 「近道」 ◇ route 「道 [道筋]」
◇ midnight 「真夜中」

【第5場面】

(I explained ...
running late.)

- ◇ excuse 「言い訳」 ◇ unfair 「不公平な [不当な]」
◇ could have left ... or checked 過去の事実と反する仮定をする〈仮定法過去完了〉の動詞形。
「(やろうと思えば) ...出るとか〜調べるとかできただろう」の意味。

【第6場面】

(After we ... this
way!)

- ◇ work 「機能 [作動] する」 ◇ notice 「気づく [注目する]」 自動詞。
◇ serious 「深刻な」 ◇ incident 「小事件」
◇ make fun of ... 「...をからかう [笑い者にする]」
◇ far 「はるかに [大いに; ずっと]」 ここは比較級 (more relaxing) を強調する使い方。

【設問・選択肢】

- ◇ lateness 「遅刻」 ◇ uneasy 「不安な [心配な; 落ち着かない]」
◇ accidentally 「偶然に [誤って]」 ◇ meet 「出会う; 集まる」 自動詞。
◇ ask to ... 「...させてほしいと頼む」 ◇ incorrect 「間違った [不正確な]」
◇ good (reason) 「もっともな (理由)」
◇ help ここは後ろに動名詞を従えて「...を避ける」の意味。be unable to (= cannot)
help - ing で「-せずにはいられない [するのは仕方がない]」の意味。
◇ be pleased with ... 「...を喜ぶ [気に入っている]」
◇ impolite 「不作法な [無礼な]」

第6問

解答

A	問1 - ②	問2 - ④	問3 - ③	問4 - ①	問5 - ②	(各6点)
B	52 - ②	53 - ④	54 - ③	55 - ①		(全部正解で6点)

論説系長文読解問題

出典

Original Material

全訳

- (1) アメリカ合衆国では家庭生活が変わりつつある。1つの重要な変化が、多世代同居世帯数の増加である。これは、2つ以上の成人年齢集団 (つまり世代) の家族が同居している世帯のことである。多世代同居世帯には、成人した子どもが親と同居していたり、高齢の親が子どもや孫と同居している例などが含まれる。2014年には、アメリカの世帯の19パーセントが多世代同居だった。1980年にはそれらはアメリカの世帯の12パーセントにすぎなかった。アメリカ人の家族生活におけるこれらの変化は好ましいものである。それによって年齢集団が異なる家族が、一緒に時を過ごし、育児や食物や住宅にかかるお金を節約できるからだ。しかしそれは難題をも生み出すので、アメリカ社会は多世代同居による暮らしをさらに支援する必要がある。
- (2) 1800年代などのアメリカの昔の生活においては、多世代同居世帯はよりありふれたものだった。これは1900年代になっても続いた。1950年には、アメリカの21パーセントの世帯が多世代同居型だった。これが変わったのは、1950年代および1960年代の間に、都市部の周辺に郊外住宅地が造られ、アメリカの経済が成長したことによるものであった。この時期の人気テレビ番組に登場する世帯は、ほとんどが「核家族」、つまり夫婦と学齢期の子どもからなるものだった。テレビでは、核家族が暮らすのは郊外の庭付きの家で、犬を飼い、自家用車を所有していた。1970年までには、アメリカのわずか13パーセントが多世代同居世帯になっていた。
- (3) しかしながら、2007年から2008年にかけての世界的経済危機の間に、多世代同居生活は一気に増加した。2014年までには、6,060万人のアメリカ人が多世代同居世帯で暮らしていた。とりわけ、経済状況が悪化すると、親や年上の親戚と一緒に暮らし始める若い成人が増えた。2014年現在で、25歳から29歳の人々の31パーセントが、そのような世帯で暮らしていた。しかし世界的な経済危機ですべてを語り尽くせるわけではない。移民人口の増大もまた重要である。アジア諸国や中南米からの移民の間では、多世代同居世帯の比率は、アメリカ合衆国の平均よりも高い。同じことは、これらの地域から来た移民の子どもや孫にも当てはまる。
- (4) 多世代同居世帯の増加は、経済的混乱のしるしだと考える人もいるが、それには多くの利点がある。アメリカ合衆国の多くの人々は、自分と同じ年のほかの人々と大部分の時間を過ごす。その結果、若者たちには年配者たちへの理解が欠けていることがある。同様に、一部の年配者たちは、若者たちに慣れていない。しかしながら、多世代同居生活は、年齢集団間の理解を構築するだけでなく、家族が住居や食物や育児や医療にかかるお金を節約するのにも役立つ。高齢者のための介護施設やケアサービスはとても高いので、年配の親族が同居するのを今では望むアメリカの家族もいる。お金の節約だけでなく、年配の人々は、子どもや孫の近くにいられるのでより幸せに感じる。
- (5) 多世代同居生活にはこういった利点があるものの、それには難題もある。多くのアメリカの家は核家族向けに造られている。加えて、アメリカの市や州のなかには、多世代同居生活を容易にしてくれる個別の生活圏をもつ家を建てるのをより難しくしている法律がある。大型の家にあるこれらの個別の生活圏は、「おばあちゃんの部屋」と呼ばれることがあ

- る。ここにはしばしば別々の玄関、浴室、プライベートな場所がある。これらのおかげで、人はより多くのプライバシーを得て、夜更かしや早起きができる。家族はしばしば費用を分担しなければならないので、財政的な難題もある。専門家は、家族が財政的な問題についてはっきりと正直に話せるよう、定期的に家族会議を開くことを提案している。
- (6) アメリカの多世代同居世帯の数が増え続けることを期待する人は多い。この傾向は好ましい効果をもつけれども、アメリカ社会は十分に準備ができていないわけではない。多世代同居生活の利益を十分に得るためには、アメリカの住宅や関連する法律の変更に加えて、人々が家庭や家族生活についての考え方の一部を改めることも必要だろう。

各段落の要旨

段落	テーマ	要旨
(1)	アメリカ合衆国の多世代同居世帯の最近の傾向	アメリカ合衆国では多世代同居世帯の割合が増えている。これは望ましい変化だが、難題も抱えており、社会によるさらなるサポートが必要である。
(2)	住宅と経済の変化	昔はアメリカにおける多世代同居世帯はありふれたものであり、1950年頃まで続いたが、1950年代から1960年代の郊外住宅地の造成と経済成長により、その割合は下がっていった。
(3)	多世代同居世帯が最近増えた理由	近年アメリカの多世代同居世帯が増加した大きな原因は、国際的な経済危機だが、アメリカへの移民の増加も重要な原因である。
(4)	多世代同居世帯の主要な利点	多世代同居という生活形態には、世代間の理解の促進、生活費の節約、高齢の人々の安らぎなど、多くの利点がある。
(5)	多世代同居生活の難しさ	多世代同居世帯には難しい問題もある。異なる世代が同居するのに適した家造りには困難な点があり、また費用の分担もよく話し合ったうえで行う必要がある。
(6)	アメリカ合衆国で必要とされる将来の変化	多世代同居世帯の増加は望ましいことであるが、その恩恵を十分に得るには、人々の考え方の転換も含めて、いろいろな変革が必要である。

A

設問解説

問1 47 正解②

「第1段落によると、次のどれが多世代同居世帯の例か」

- ① 2人の小さな子どもをもつ夫婦
- ② 最近大学を卒業した女性とその両親の同居
- ③ 10歳の孫とのみ暮らす高齢の男性
- ④ いろいろな年齢のルームメイトと一緒に暮らすこと

多世代同居世帯の定義として第1段落第3文(These are homes ...)に、「これは、2つ以上の成人年齢集団(つまり世代)の家族が同居している世帯のことである」とあるので正解は②「最近大学を卒業した女性とその両親の同居」。「最近大学を卒業した女性」と「その両親」は、2つの異なる成人年齢集団に属していると考えられる。more than oneは「1つより多くの」つまり「2つ以上の」という意味を表すことに注意。

①の「夫婦」は「2つ以上の成人年齢集団」に属しているとは考えられない。また、「2人の小さな子ども」は「成人」ではない。③の「10歳の孫」は「成人」ではないため、上記の下線部の条件を満たしていない。④の「ルームメイト」は「家族」ではないので条件を満たしていない。

問2 48 正解④

「第2段落によると、アメリカ合衆国では1950年代および1960年代の間に48」

- ① 多世代同居世帯が初めてありふれたものになった
- ② 核家族は住宅を見つけるのに苦労した
- ③ テレビ番組が核家族をたびたび大きく取り上げるというわけではなかった
- ④ 多世代同居世帯の比率が減少した

第2段落第4文(This changed with ...)に、「これが変わったのは、1950年代および1960年代の間に、都市部の周辺に郊外住宅地が造られ、アメリカの経済が成長したことによるものであった」とある。「これ(This)」が指しているのは、ここまでの内容、つまり「1800年代などの昔からアメリカでは多世代同居世帯はありふれたもので1950年には21パーセントがそうだった」である。したがって「これが変わった」とは、「多世代同居世帯の割合が減少に転じ始めた」とことと考えることができるので、④「多世代同居世帯の比率が減少した」が正解に決まる。

①は第2段落第1文(During past times ...)の「1800年代などのアメリカの昔の生活においては、多世代同居世帯はよりありふれた(広範囲に見られる)ものだった」という記述に矛盾するので誤り。②のようなことは本文では述べられていない。③は第2段落第5文(In popular television shows ...)に、「この時期の人気テレビ番組に登場する世帯は、ほとんどが『核家族』、つまり夫婦と学齢期の子どもからなるものだった」とあるのと合わない。

問3 49 正解③

「第3段落中のtell the whole storyの意味に最も近いのは、次のどれか」

- ① 長い年月のあとで終わる
- ② はっきりとした原因がある
- ③ 完全な説明となる
- ④ なんらかの点で関係する

tell the whole storyは「すべて[一部始終]を物語る」という意味。したがってこの文の文字どおりの意味は、「しかし世界的な経済危機がすべてを物語るわけではない」となる。第3段落第1文(However, multigenerational living ...)の記述などからわかるように、この文脈では「世界的な経済危機」は、多世代同居世帯が増加した「原因」としてとらえられている。このことから上の文のなかの「すべてを物語る」とは「多世代同居世帯が増加した原因をすべて説明し尽くす」という意味に解することができる。したがって、この内容に最も近い③「完全な説明となる」が正解となる。

第3段落の文脈からは、①や②や④のようにtell the whole storyの意味をとらえることはできない。

問4 50 正解①

「第5段落によると、なぜアメリカの多くの世帯には、家に個別の生活圏がないのか」

- ① 多くの家は多世代同居世帯用に設計されていない。
- ② 多世代同居家族は自分たちの必要とするものを話さない。
- ③ 多世代同居家族はしばしば寄り添って暮らすことを好む。
- ④ そのような生活圏はしばしば家族の住宅費用を増やす。

第5段落第3文(In addition, ...)に「加えて、アメリカの市や州のなかには、多世代同居生活を容易にしてくれる個別の生活圏をもつ家を建てるのをより難しくしている法律がある」とあり、「個別の生活圏をもつ家」は多世代同居世帯に適した家屋形態であることがわかる。そしてその前の第2文(Many U.S. homes are built ...)には、「多くのアメリカの家は核家族向けに造られている」とあることから、これが個別の生活圏をもつ家が少な

い理由の1つと考えられる。①「多くの家は多世代同居世帯用に設計されていない」はこれとほぼ同じ意味なので、これが正解となる。

②や③のようなことは、本文中では述べられていない。④のように、個別の生活圈を設けることが住宅費用を増やすとも本文では述べられていない。

問5 51 正解 ②

「この文章にタイトルをつけるとしたら、何が最適か」

- ① 幸福な家庭生活を送るためのアドバイス
- ② アメリカの世帯の変化
- ③ 住宅にかかるお金の節約法
- ④ 異なる年齢集団を理解すること

この文章では、アメリカ合衆国における「多世代同居世帯」に関する考察が行われている。近年における核家族世帯から多世代同居世帯への変化を中心に、その経緯、利点、問題点、将来への課題などが述べられている。したがってタイトルとして最適なのは②「アメリカの世帯の変化」である。

①の「幸福な家庭生活」は「多世代同居」というテーマと直接つながる内容ではなく、また「アドバイス」がこの文章の中心になっているわけでもないで、タイトルとしては不適。第4段落では③の「住宅費用の節約」および④の異なる年齢集団への「理解」のことが述べられているが、それがこの文章全体のテーマになっているわけではない。

B

設問解説

52 正解 ② 53 正解 ④ 54 正解 ③ 55 正解 ①

段落	内容
(1)	アメリカの多世代同居世帯の最近の傾向
(2)	52 ② 住宅と経済の変化
(3)	53 ④ 多世代同居世帯が最近増えた理由
(4)	54 ③ 多世代同居世帯の主要な利点
(5)	55 ① 多世代同居生活の難しさ
(6)	アメリカで必要とされる将来の変化

表の空欄になっている段落の内容を確認し、それを端的にまとめた段落構成と内容を選ぶ。段落順に解説を行う。

第1段落では、表に与えられているように「アメリカの多世代同居世帯の最近の傾向」について述べられている。

第2段落では、かつてアメリカ合衆国では多世代同居世帯の割合が比較的高かったが、1950年代および1960年代に生まれた郊外住宅地や経済成長によって、その割合が減少し始めたことが述べられている。したがって、この段落に対応するのは、②「住宅と経済の変化」である。

第3段落では、2007年以降に、世界的経済危機や移民人口の増大によって、多世代同居世帯の割合が増加に転じたことが述べられている。したがってこの段落にふさわしいのは④「多世代同居世帯が最近増えた理由」である。

第4段落では、世代間の理解の促進、生活費の節約、高齢の人々の安らぎなど、多世代同居生活がもたらす利点が紹介されている。したがってこの段落には③「多世代同居世帯の主要な利点」が対応する。

第5段落では、多世代同居に適した家造りが難しいこと、また費用の分担もよく話し合っ

たうえで行う必要があることなど、多世代同居世帯が直面する難題が紹介されている。したがってこの段落は①「多世代同居生活の難しさ」に対応している。

第6段落では、表に与えられているように「アメリカ合衆国で必要とされる将来の変化」について述べられている。

主な語句・表現

[第1段落]

・問題冊子を参照のこと。

◇ rising 「増加する」

◇ multigenerational household 「多世代同居世帯」

◇ adult age group 「成人年齢集団」

◇ positive 「肯定的な；前向きの」

◇ challenge 「難題」

[第2段落]

◇ even more common 「(現在よりも) さらに広まって [ありふれた]」 even は比較級を強調する副詞。

◇ continue into ... 「…に入っても続く」 ◇ suburban 「郊外の」

◇ outside of ... 「…の外側に」

◇ married couple 「夫婦」

◇ school-age 「学齢の [就学年齢の]」

[第3段落]

◇ global financial crisis 「世界的経済 [財政] 危機」

◇ relative 「親戚；親族；身内」

◇ worsen 「悪化する」

◇ as of ... 「…現在で […の時点で]」

◇ 25-29 year-olds 「25歳から29歳の人々」 この olds は、「…歳の人」という意味の名詞 old の複数形。

◇ growing 「増加 [増大] する」

◇ immigrant 「移民」

◇ higher than the average 「平均よりも高い」

[第4段落]

◇ see O as ... 「O を…と見なす」 ◇ benefit 「利点 [恩恵]」

◇ other people their own age 「彼らと同じ年のほかの人々」 their own age は people を修飾している。

◇ as a result 「その結果」

◇ lack 「…を欠いている」

◇ be used to ... 「…に慣れている」

◇ in addition (to + 名詞・動名詞) 「(…に) 加えて」

◇ help O + 動詞の原形 「O が…するのを助ける；O が…するのに役立つ」

◇ nursing home 「老人ホーム」

◇ elderly 「お年寄りの [年配の]」

◇ prefer that S + V 「…ということを望む；…だとよいと思う」

◇ feel happy -ing 「-して楽しい [幸せだ]」

[第5段落]

◇ despite 「…にもかかわらず」

◇ make it more difficult to build ... 「…を建てるのをより難しくする」 it は形式目的語、to build ... が真の目的語。

◇ separate 「別々の」

◇ living area 「生活圈」

◇ make O easier 「O をより易しくする」

◇ granny flat 「おばあちゃんの部屋 [離れ]」

◇ stay up late 「夜更かしする」

◇ expense 「費用」

[第6段落]

◇ expect O to ... 「O が…するのを期待する」

◇ not fully ... は部分否定で「十分に…であるわけではない」の意味。

◇ be prepared 「準備ができています」

◇ related 「関係 [関連] のある」